

外 国 語 科 学 習 指 導 案

単元名 「Lesson 7 Behind the Price Tag」
令和6年10月 第1学年 指導者 菊地 洋彰

I 単元の構想

1 単元観

本単元は、安価で手に入るポロシャツ製造の陰に潜む過酷な労働環境に関する講義を聞き、実際にその安価なポロシャツを購入したいという意見と、購入したくないという意見とその理由が書かれている。生徒は本単元を通して、日ごろ購入している商品の裏には労働者の姿があることを知り、消費者として購入する商品がどのような過程・労働環境で製造されているかに気付くことができる。

本単元では、主な言語活動として、「ある製品を売り出す際に、社長として消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」というテーマでプレゼンテーション（発表）を行う。「労働環境に問題があり、業績が落ち込んでいる会社の社長に就任する」という状況設定を生徒に提示し、それぞれが自分の新製品を発表する社長になったつもりで発表する。発表の際には各グループに分かれ、発表者は企業の社長、聞き手は労働者、または消費者の役割が与えられる。発表後には、「社長からのプレゼンが自分（労働者、または消費者）にとって魅力的か」という観点のもと投票形式で聞き手が発表者の評価を行う。発表を円滑に進めるためには、ジェスチャーの活用や強調したい部分を明確にした発表資料の作成など、聞き手を意識することが必要である。また聞き手に関しては、相手の発表に対してあいづちを打ったり、発表後に質問したりすることができるよう支援する。ロールプレイ形式によるという場面設定により、目的意識や相手意識をもって工夫しながら伝え合う思考力、判断力、表現力等を高めることができると考える。

2 研究との関わり

本研究では、目指す生徒の姿を「学習したことを基に当事者意識をもって自分の考えを表現できる生徒」と設定し、その実現に向けて講じる手立てを「Project Based Learning型授業（以下、PBL型授業）」と「自己調整の場の設定」とした。

「PBL型授業」とは、生徒が実社会の中から自ら課題を発見して解決する能力を養うことを目的とした学習方法のことである。今回の研究における「PBL型授業」とは、単元の初めに、題材に基づいた社会課題の解決を目的とする言語活動を教師が提示し、生徒に解決策を考えさせるための教材の一つとして、教科書の英文を読解させ、単元末でその内容を踏まえた言語活動を実施するような授業を単元を通して実施する授業形式のこととする。生徒は解決策を考えるために、英文を一度速読して概要を把握し、そこから得られた情報を基に次の二つの問い合わせを設定する。一つ目は英文の内容を読解することで解決できそうな問い合わせ（教科書の内容に関して不明な点を明らかにし、読み直すことを促すことが目的）と二つ目は教師から提示されたテーマの解決策を具体化するための問い合わせ（単元の最後に言語活動を行う動機付けが目的）である。生徒はこれらの問い合わせに対する答えを英文を精読しながら考え、読み進めていく過程でその問い合わせに対する答えが分かったり、新たな問い合わせが思い浮かんだ場合はその都度、自分の意見をQuestion Sheetに記録しながら学習を進めていく。英文を精読し終えた後、二つ目の問い合わせの解決策をスピーチやプレゼンテーション（発表）、またはディスカッションやディベート（やりとり）等の言語活動を通して表現していく。どのような表現形式を選択するかは単元に応じて教師が設定する、または生徒が表現に適した形式を選択する。このように、問い合わせを設定し、解決し続ける過程を通して、「読むこと」の精度が高まるとともに、課題に対する当事者意識をもって学習し、「表現すること」ができると考える。

「自己調整の場の設定」とは、生徒が英文を読み進めていく上で、その内容を適切に理解し、設定した課題の解決に向かうことができているかを自己の振り返り、または他者との情報共有を通して確認する場を生徒に与えることである。その具体的な場として以下の二つを設定する。一つ目は上記のQuestion Sheetに自分が考えた問い合わせとその答えを記録し、周囲の生徒とペアやグループになって自分の意見を発表し、他者と共有する場である。二つ目は、英文を一通り読解した後に自分で理解したことをリテリングやサマリーとしてまとめ、他者との交流を図り、その交流を通して自分の理解度を振り返る場である。こうした場を設定することで、生徒は自分の理解度を振り返り、主体的・自律的に情報を収集することができると考える。

3 単元（題材）の目標及び生徒の実態

目標		生徒の実態
知識及び技能		<ul style="list-style-type: none"> ・分詞構文を用いて適切に表現することが難しい。 ・発表において相手を説得するように伝えることが難しい。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・「ある製品を売り出す際に、社長として消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」というテーマについて、聞いたことや読んだことを基に、自分の考えを理由とともに話して伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の示したモデルや教科書の内容を参考しながら、目的や場面、状況に応じて適切な発表を行おうとするがその内容が発表の趣旨と合わないことがある。
学びに向かう力、人間性等		<ul style="list-style-type: none"> ・発表に向けて、辞書や検索エンジンを活用したり、他の生徒とアイデアを共有したりしながら課題に取り組もうとしている。

4 評価規準

知識・技能	「ある製品を売り出す際に、社長として消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」というテーマについて、自分の考えを理由とともに話して伝えるために必要な語彙や表現（分詞構文）を理解している。
思考・判断・表現	消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品について、聞いたことや読んだことを基に、自分の考えを理由とともに話して伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品について、聞いたことや読んだことを基に、自分の考えを理由とともに話して伝えようとしている。

5 指導及び評価、ICT活用の計画（全7時間：本時第7時）

過程	時間	■ねらい □学習活動 ★ICT活用に関する事項	知	思	態	◆評価項目＜方法（観点）＞ ○指導に生かす評価 ●評定に用いる評価
つかむ	1	<p>■「ある製品を売り出す際に、社長として消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」というテーマを生徒に提示し、興味・関心を喚起するとともに、単元の学習課題についての見通しをもつ。</p> <p>□単元全体を一通り素早く読んで概要を把握し、その内容を基に問い合わせ立てる（★）。</p> <p>[単元の学習課題] 「消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」というテーマについて自分の意見を考え、発表する。</p>		○		<p>◆教科書の内容を読み解くための問い合わせ立てている。</p> <p>◆教科書の内容を基に、提示された言語活動の課題を解決するための問い合わせ立てている。</p> <p><スプレッドシート（態）></p>

追究する	2	<p>■表現活動に活用できるように、各 part の新出語句や言語材料の意味や用法を確認し、教科書の英文の内容を理解する。</p> <p>□新出語彙の意味の確認をする。</p> <p>□リスニングによる概要把握をする。</p> <p>□教師による発問に答えたり、文法・構文解説を聞いたりしながら本文の内容を理解する。</p> <p>□教科書の英文を読みながら変化した問い合わせやその答えを Question Sheet に記録する（★）。</p> <p>□音読を通して、学習した内容の定着を図る。</p> <p>□学習した内容を基に会話等の表現活動を行う。</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">一齊に記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を見届けて、指導に生かすことは毎時に行う。</p>	<p>◆安価で販売されているポロシャツ 製造における過酷な労働環境について理解している。 <観察・発問・学習ノート（知）></p> <p>◆安価なポロシャツを購入したいという主張と購入したくないという主張の理由を理解している。 <観察・発問・学習ノート（知）></p> <p>◆自分がポロシャツを買う際に、教科書で取り上げられている内容を参考に、どのようなものを購入したいかを説明している。 <観察・学習ノート（思）></p>
	5	<p>■本单元で学習したことを整理し、まとめる。</p> <p>□単元全体の要点を整理し、ペアでリテリングを行う。また、ペアで互いに足りない要素や加えた方がよい要素について話し合う。</p> <p>□単元全体の要点を整理し、日本語でサマリーを作成する。また、ペアで互いに足りない要素や加えた方がよい要素について話し合う。</p>		
まとめる	6	<p>■本单元で学習したことを参考にし、「ある製品を売り出す際に、社長として消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」というテーマについてのプレゼンテーションを行う。</p> <p>□6限目にプレゼンテーションの準備を行う（★）。</p> <p>□グループごとにプレゼンテーションを行い、発表を録画する（★）。</p> <p>□他のグループメンバーの発表内容に対して質問する。</p>	●	<p>◆教科書の内容を参考に、労働環境と消費者の意見を踏まえ、消費者と労働者の両方に利点をもたらすようなアイデアを発表している。 <動画・ワークシート（思）></p> <p>◆他のグループメンバーの発表を聞いて、その内容について質問している。 <観察・ワークシート（態）></p>
	7 (本時)	[单元終末の課題] 「消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」についてのプレゼンテーションを行い、録画する。	●	

Ⅱ 本時の学習（7／7時間目）

1 ねらい 「ある製品を売り出す際に、社長として消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」というテーマについての発表を行い、考えを伝えることができる。

2 展開

主な学習活動 予想される児童(生徒)の反応【S】 ★ I C T 活用に関する事項	◎研究上の手立て ○指導上の留意点 ◆評価項目(観点)
<p>1 Question Sheet の整理とプレゼンテーションの準備をする(★)。(導入5分)</p> <p>S1: I need to appeal more about the improvement of the working condition. S2: How can I tell the good points of my product?</p>	<p>◎自らの設定した問い合わせ振り返り、プレゼンテーションの内容が課題の解決に向かっているかを意識できるようにする。 ○プレゼンテーションの内容とのつながりを確認できるように、自分の設定した問い合わせ振り返ることを促す。</p>
<めあて・課題等>	
<p>「ある製品を売り出す際に、社長として消費者と労働者の両方に利点をもたらすための新商品とは」というテーマについての発表を行う。</p>	
<p>2 グループプレゼンテーションを行う。(★) (展開①25分)</p> <p>S1: 新商品が魅力的に感じるような発表をしよう。 S2: 労働者の立場で発表を聞いたら、何を感じるかな。</p> <p>S1(consumer): The product is very reasonable but can you use it for a long time? S2(worker): The price of the product seems to be very low, but can we get more salary than now?</p> <p>S1: I liked the reasonable product that lasts long. S2: I would like to work at the company which gives us much salary.</p>	<p>◎学習したことを基に、消費者と労働者の両方に利点をもたらす新商品を社長として発表することに意識できるようする。 ○当事者意識をもって活動できるように、グループ内で発表を行う際は、発表者、司会、ビデオ撮影、聞き手(労働者・消費者)の役割を順番でそれぞれが担うことを促す。 ○グループの他のメンバーの発表を聞く際に与えられた役割のもと、発表を聞き、聞き手は質問やコメントをすることを促す。</p> <p>○全員の発表後に投票形式で評価を行い、代表者を決める。</p> <p>◆評価項目 社長として、新製品を魅力的に発表し、その製品を販売することで、購入した消費者と働いている労働者にどのような利点をもたらすことができるかを説明している。 <観察・録画(思・態)></p>
<p>3 各グループの代表者によるプレゼンテーションを聞く。(★) (展開②20分)</p> <p>S: さすが代表者。こうすれば消費者と労働者の両方に利点をもたらすことができるのか。</p>	<p>○当事者意識をもって活動できるように、与えられた役割のもと、発表を聞き、投票形式で評価を行うことを促す。</p>
<p>4 本時を振り返る。(★)(まとめ5分)</p> <p>S1: 消費者と労働者の両方に利益をもたらすための工夫がこんなにもあることが分かった。 S2: 魅力的に伝える発表方法を、次回の発表に使ってみよう。</p>	<p>○気付いたことを振り返ることができるよう、自己評価を行うことを促す。</p>